



# 地域コミュニケーションDX担い手育成業務

## 概要

次世代へ持続可能な地域コミュニティを引き継ぐために



# 地域コミュニティを取り巻く課題と対応の方向性



# 現在のコミュニケーションツール「あいべあ」が抱える課題

現在、市が提供する「あいべあ」は、町内会等での継続的な活用に至っていない現状がある。  
その背景には、以下の課題が存在する。

## 【機能的な課題】



- ブラウザベースなので、ネイティブアプリのようなプッシュ通知ではない
- ブラウザ閲覧時に都度ログインが必要
- UI/UXの大幅な見直しが必要

## 【運用的な課題】



- 高齢者にとって登録自体のハードルが高い
- 地域での周知やサポート体制の構築が不足
- 「防災メール」のような一方的な情報伝達ツールと誤認されている（双方向機能の認知不足）

「あいべあ」を含めて、地域で継続的に利用されるような使いやすいツールや仕組みが求められる

# 本事業は単なるITツールの導入ではなく、地域のつながりを次世代へ引き継ぐための「持続可能な仕組みづくりの一つ」である。

## 現在（限界）

令和7年2月の豪雪時、迅速な安否確認や細やかな情報共有の限界が露呈。これらの課題がより顕在化している。



- アナログな連絡手段
- 特定世代への過度の負担
- 紙と対面中心の非効率な運営

## 未来（持続可能）



- デジタルツールの活用
- 多世代が参画できる環境
- 効率的で持続可能なコミュニティ

# 解決へ向けた「3つの歯車」 (地域コミュニケーションDXの全体像)

## 地域未来交付金を活用した3か年の事業

持続可能な  
コミュニティ



# 地域コミュニケーションDX担い手育成業務：目的と主な内容

【目的】 地域における持続可能なデジタルサポート体制を構築し、地域の自走化を促す。

## 1. 人材育成・ コミュニティ運営

地域デジタルサポーター  
の育成・活用支援。  
サポーターのコミュニティ  
の運営業務

## 2. 徹底した 現場サポート

地域デジタルサポーター  
を活用したのデジタルサ  
ポート体制の構築

## 3. 自走化と広域展開

コミュニケーションツールの  
共同利用に向けた支援。

